



「唯一無二」

机とにらめっこ
下絵も釉薬さしも
ただ静かな時間だけが
空気を満たしていた
百八十年以上の
月日を重ね
尾張七宝は今日に至る
その歴史をつくってきた
先人のひたむきな姿勢を
感じさせるような
机とにらめっこ
わからないところ
受け継がれた
知識の一端を言葉で伝承
言葉で語って
して見せて
自分で取り組ませる
その繰り返しのうちに
尾張七宝の歴史がある
釉薬をさしながら
少しずつ少しずつ
下書きのイメージが
できあがっていく
窯から出てきた作品は
彩り様々
できあがった
世界で唯一無二を手に
笑顔が生まれていた

2年 七宝焼体験 12月15日, 16日

